

Brukner P, Khan K(著)
 靱山日出樹, 他(監修)

「臨床スポーツ医学」
 (Clinical Sports Medicine 3rd Edition)」

浦辺幸夫
 広島大学大学院保健学研究科

本書「臨床スポーツ医学」の原著である「Clinical Sports Medicine」は、スポーツ医学の分野ではゴールドスタンダードとなっている書籍です。日本語版の元となった第3版は2006年に発行されましたが、それほど時をおかずに日本語訳が完成したことに、大いに敬意を表したいと思います。

スポーツ外傷・障害のリハビリテーションは大きな発展をとげています。どのような医療機関でも、統一された水準で医療を提供するためには、このような書籍による情報提供が必要なことは間違いありません。1980年代以前のスポーツ医学の啓発書、1990～2000年代の専門的な技術書を経て、本書ではスポーツ医学全般を俯瞰しながら、クリニカルリーズニングに則ったうえで、スポーツ医学の手法、問題点、そして展望について解説しています。その意味で、斯界の第3世

代の書籍ということができると思います。疼痛への対応や筋・骨格系の諸問題への対応については、これまでの成書の域を抜け出した内容となっています。

翻訳を行った靱山氏のグループは、スポーツ医学の経験が豊富で、国際学会などでも積極的な活動を行っており、本稿の筆者も学会で意見交換を行う間柄です。気鋭の研究者や理学療法士、アスレティックトレーナーが丁寧かつ的確に訳した内容は、原著をさらに際立たせたいへん立派なものになっています。使用されている図表は、すべてカラーで緻密なものです。これを眺めているだけで、治療に関する様々なアイデアが浮かんできそうな気がします。また、誰が読んでも理解しやすく、役立つ内容に仕上がっています。

医療がますます進歩していく現代では、常に基礎知識を整理しておく必要があります。これからこの分野で仕事を始める方々に加え、経験豊富な臨床家の方々も、ぜひ本書でご自身の知識を整理していただき、患者様やスポーツ選手にその成果を還元していただきたいと思います。

●B5判・663頁・4色刷

定価 9,975円(本体9,500円+税5%)

2009年 医学映像教育センター・刊